

取手アートプロジェクト《半農半芸》

高須で空あそび一大空凧プロジェクトー ご取材のお願い

高須で空あそび一大空凧プロジェクト&ひだまりのひマルシェ
(2024年1月21日(日)10:00-14:00開催)に向けて500枚の凧を制作中！



3回目となる今回は、取手市高須地区の稲刈り後の田んぼからゆずっていただいた藁と植物で染めた楮を混ぜて藁紙を漉き、500枚の凧を制作します。2024年1月21日(日)当日は、その500枚の凧を横に並べて揚げるアーチカイトを高須地区の空に揚げます。下記の日程で地域の方々と協働して制作をおこなっておりますので、ご取材いただけますと幸いです。

【日程と作業の内容】

日時(未定含む)	場所	内容
12月3日(日)10:00-12:00	高須公民館	アーチカイトの制作
12月8日(金)10:00-12:00	高須公民館	アーチカイトの制作
12月10日(日)14:30-17:00	高須公民館	アーチカイトの制作

※有事の際や天候の影響のため、変更が生じる場合があります。また、上記以外の日程も調整させていただきますので、ご取材前に一度担当までお問合せください。

※12月10日(日)以降の制作日については決まり次第ご連絡させていただきます。

お問合せ先：取手アートプロジェクト実行委員会(担当：倉持、羽原、遠藤)
電話：0297-84-1874(火・金13:00-17:00) FAX: 0297-84-1875
E-mail: tap-info@toride-ap.gr.jp WEB: <https://toride-ap.gr.jp/>

取手アートプロジェクト《半農半芸》

高須で空あそびー大空凧プロジェクトー&ひだまりのひマルシェ

取手アートプロジェクト《半農半芸》とは

《半農半芸》は10年かけて旅する活動として2011年に始まりました。自然の要素を表現の軸に据えたアーティストたちとともに衣食住の新しい価値を創る試みに取り組んでいます。活動拠点「高須ハウス」や「藝大食堂」を中心に、農や伝統技術を支える地域の方々と創作活動を行う表現者たちが協働し、土地の革新的な可能性を開く活動を展開しています。

高須で空あそびー大空凧プロジェクト

取手市高須地区に活動拠点を構え《半農半芸》のリサーチ、制作活動を進める中で、かつて高須地区で行われていた凧揚げと出会いプロジェクトがスタートしました。高須地域の方々が制作し、揚げていた凧の骨組みを使用し、高須地域の藁や植物を素材に芸術家と地域の方々が協働で凧を制作しています。これまでに2022年に十二畳凧、2023年に六畳凧を復活させました。



左：2023年1月22日の六畳凧揚げ時の写真

右：取手市高須地域で行われていた凧揚げの様子

QRコード：2023年1月22日の凧揚げ動画



ひだまりのひマルシェについて→P.8

お問合せ先：取手アートプロジェクト実行委員会（担当：倉持、羽原、遠藤）

電話：0297-84-1874（火・金13:00-17:00）

FAX：0297-84-1875

E-mail：tap-info@toride-ap.gr.jp WEB：<https://toride-ap.gr.jp/>

高須で空あそび一大空凧プロジェクト&ひだまりのひマルシェ 開催概要

開催日時: 2024年1月21日(日) 10:00-14:00 (小雨決行)

タイムスケジュール

時間	高須で空あそび	ひだまりのひマルシェ
10:00～	アーチカイト 準備スタート 場所: 取手市高須の農道 (取手市高須長田地区) 自作した凧と一緒に揚げる ことができます	ひだまりのひマルシェ スタート 場所: ひだまりのはらっぱ (社会福祉法人身障者ポニー の会畑地) 高須地域のみなさんとお餅つき をして振る舞います
13:00頃	アーチカイト 終了	
14:00頃 売り切れ次第終了	終了予定 ひだまりの日マルシェは売り切れ次第終了	

※凧揚げのスケジュールは風の状況により変動する可能性があります。

今回の凧揚げはアーチカイト以外にも、自作した凧をお持ちいただき、会場にて一緒に揚げられます。より多くの方にご参加いただけますようにぜひご取材賜りたく、お願い申し上げます。ご質問はお気軽にお問合せくださいませ。

主催: ひだまりのまちプロジェクト／取手アートプロジェクト実行委員会

助成: 令和五年度 自治総合センター 地域の芸術環境づくり助成事業／令和五年度 文化庁 文化芸術創造拠点形成事業

協力: 高須地域のみなさん／高須地区長会／高須公民館運営委員会／取手市消防団第34分団／社会福祉法人身障者ポニーの会／桜が丘自治会／耕すプロジェクト／東京藝術大学藝大ファクトリーラボ／月出工舎

お問合せ先: 取手アートプロジェクト実行委員会(担当: 倉持、羽原、遠藤)

電話: 0297-84-1874(火・金13:00-17:00)

FAX: 0297-84-1875

E-mail: tap-info@toride-ap.gr.jp WEB: <https://toride-ap.gr.jp/>

高須で空あそびー大空凧プロジェクトー 500枚の凧が高須の大空に舞う アーチカイトに初挑戦！

取手市高須地区で開催する「高須で空あそびー大空凧プロジェクト」の凧揚げは今回で3回目となります。本プロジェクトでは、かつて高須地域の方々が制作し、揚げていた凧に着目し、高須地域の藁、植物を素材に、芸術家と地域の方々が協働して凧を制作します。かつて地域の方々が制作し残されていた凧の骨組みを活用して、2022年に十二畳凧、2023年に六畳凧を復活させました。3回目となる今回は、これまでの制作技術をもとに、芸術家による染め、紙漉き、凧制作の研究をさらに発展させ、合計1,400枚の藁紙を漉き、アーチカイトと呼ばれる連凧を制作します。左右の2点で固定された連凧により、高須地区の冬の水田地帯の空中に壮大な凧の架け橋を出現させます。また、そのような景色の中で、自作の凧を持ち寄り凧揚げを楽しめる場をつくることを考えています。

【アーチカイトの制作について】

◎アーチカイト

今回はアーチカイトに挑戦することで、大凧揚げの力強い迫力とは異なる楽しみ方を計画しています。全て手作業で作られた同じものは1枚としてない、連凧のアーチにより空に架け橋が広がるような風景をつくりだします。

[アーチカイトのイメージ]



お問合せ先：取手アートプロジェクト実行委員会(担当：倉持、羽原、遠藤)

電話：0297-84-1874(火・金13:00-17:00)

FAX：0297-84-1875

E-mail: tap-info@toride-ap.gr.jp WEB: <https://toride-ap.gr.jp/>

◎楮の染色

アーチカイトは27色の色で構成されます。1本の糸に何枚もの凧を繋げる連凧の制作では、薄い藁紙が必要となります。これまで大凧制作で漉いていた丈夫で厚い藁紙とは異なる軽量化した藁紙が必要なため、植物から抽出した顔料を藁紙に塗布する方法ではなく、最初に素材となる楮を染色しました。染色には、枇杷(葉)、いちじく(葉)、梅(枝)、栗(葉)、胡桃(枝、実)、柊南天(枝)、ガマズミ(枝、葉)、トチノキ(枝、葉)、よもぎの9種類の植物を使用し、アルミ、鉄、銅を媒染剤に使用することで、計27色(1種類の植物から3色の色を制作。9種類×3色＝計27色)の楮を制作しました。



お問合せ先: 取手アートプロジェクト実行委員会(担当: 倉持、羽原、遠藤)

電話: 0297-84-1874(火・金13:00-17:00)

FAX: 0297-84-1875

E-mail: tap-info@toride-ap.gr.jp WEB: <https://toride-ap.gr.jp/>

◎染色した楮と高須の藁の紙漉き

東京藝術大学取手校地内にある紙漉き工房にて、染色した27色の楮とすりつぶした高須の藁を混ぜ合わせ、10月13日(金)から15日(日)の3日間で1,400枚の藁紙を漉きました。制作には高須地区、小文間地区だけでなく利根町など取手市内外からの市民スタッフも参加し、芸術家と協働係員の指示に従って、駐車をお願いいたします。で制作しました。3日間の延制作参加人数は33名です。

[制作の様子(2023年10月13日(金)～15日(日))]



お問合せ先: 取手アートプロジェクト実行委員会(担当: 倉持、羽原、遠藤)

電話: 0297-84-1874(火・金13:00-17:00)

FAX: 0297-84-1875

E-mail: tap-info@toride-ap.gr.jp WEB: <https://toride-ap.gr.jp/>

◎大空凧制作チーム

プロジェクト統括

● 岩間賢 いわま・さとし / Iwama Satoshi

美術家・取手アートプロジェクト《半農半芸》ディレクター

「創ること・生きること」の両輪を成し、GLOCAL (GLOBAL+LOCAL) な視点で独自性・専門性・持続性の高い作品創造と伝統文化や技術の継承を持続発展的に行う上での研究や教育、アートプロジェクトなどに取り組んでいる。

凧制作指揮

● 楮の染色 岡博美 おか・ひろみ / Oka Hiromi (染織家)

染織家・染工房「呼吸」主宰・取手アートプロジェクト《半農半芸》パートナーアーティスト

1997年より、主に繊維を使用したインスタレーション作品を制作、発表。2003年に染工房「呼吸-kokyyuu-」を設立。天然染料を使用した作品を手がける一方で、各地でワークショップも開催している。また、天然染料を絵具にする研究にも携わっている。

● 藁紙漉き 寺田健太朗 てらだ・けんたろう / Terada Kentaro

デザイナー・東京藝術大学特任研究員／非常勤講師・愛知県立芸術大学非常勤講師

1990年埼玉県生まれ。2013年多摩美術大学卒業、2015年東京藝術大学大学院修了。東京藝術大学デザイン科教育研究助手を経て、現在、MINGLE Design Officeのインテリアデザイナー。

● アーチカイト制作 宮寺雷太 みやでら・らいた / Miyadera Raita

版画家・東京藝術大学版画研究室テクニカルインストラクター

1971年東京生まれ。1997年東京藝術大学美術学部絵画科卒業、1999年東京藝術大学大学院美術研究科修士課程絵画専攻版画研究室修了。2001年長沢アートパーク アーティスト・イン・レジデンス水彩多色摺り木版制作研修（兵庫県淡路市）、2002年AIRレイク・セント・クレア レジデンス（タスマニア・オーストラリア）に参加。

●制作指導 日本の凧の会

お問合せ先：取手アートプロジェクト実行委員会（担当：倉持、羽原、遠藤）

電話：0297-84-1874（火・金13:00-17:00）

FAX：0297-84-1875

E-mail: tap-info@toride-ap.gr.jp WEB: <https://toride-ap.gr.jp/>

MARCHE×ART

2024年1月21日（日）ひだまりのひマルシェ 同時開催

2016年からひだまりのまちプロジェクトと一緒にこなってきた「ひだまりのひマルシェ」は、コロナ禍の影響で2年間の開催見送りを経て、2023年1月に再スタートしました。2023年に続き、今回も高須で空あそびと同時開催し高須の1日を盛り上げます。マルシェの出店者は、取手だけでなく龍ヶ崎、牛久など周辺の地域から日々丁寧につくる・活動するみなさんが集まります。また、高須地域の方々と一緒に餅つきをおこない、振る舞います。マルシェを盛り上げるステージも踊り、音楽、演劇など多彩になり、ここだけの逸品・時間と出会える「ひだまりのひマルシェ」にお越しください。

◎出店者一覧

FOOD & DRINK & GOODS **26店舗**

PERFORMANCE **4組**

かつしか動物公園／舞踏団 トンデ空静／AGRI BATON PROJECT 他

◎ひだまりのひマルシェ開催場所

社会福祉法人身障者ポニーの会の畑地をお借りして「ひだまりのはらっぱ」にて開催。広々とした冬の田んぼの真ん中で、食べて・見つけて・楽しむ「ひだまりの1日」のマルシェにお越しください。

[これまでのひだまりのひマルシェの様子 2023年1月22日]



以上